

ACADEMIC THEATER

近畿大学 アカデミックシアター プロジェクト

令和9年度 募集について

ACADEMIC THEATER (アカデミックシアター) とは

ACADEMIC THEATER

文理の垣根を越えて 社会の諸問題を解決に導く 実学の実践拠点。



近畿大学の学生が主体となり、
教職員、企業、地域住民の方々と協働しながら、
多様な個性をぶつけ合い、
専門領域を超えた試行錯誤を繰り返し、
共に社会問題に立ち向かう
社会的価値を生む活動。



プロジェクトは1年毎に学内公募から採択され、それぞれが自主性を持って取り組みます。
令和8年度のプロジェクト数は合わせて31のプロジェクトがあり、
全プロジェクトの合計イベント数は10月時点で50回以上開催されています。

プロジェクトの5W1H

なにを？ (What)

アカデミックシアターを起点に近畿大学に笑顔や賑わい、活気を生み出すことを目指しています。

いつ？ (When)

年間を通じて活動しています。

どこで？ (Where)

アカデミックシアターのさまざまなスペースが舞台です。
(ACT/THE GARAGEなど)

だれが？ (Who)

夢を持つ学生キャプテンを中心に共感する仲間たちが集まっています。

だれと？ (with who)

気に入ったプロジェクトがあれば、どなたでも気軽にご参加いただけます。

どうやって？ (How)

アカデミックシアター公認団体として各プロジェクトは自分たちで運営しています。

アカデミックシアター プロジェクトとは

ACADEMIC THEATER

学生プロジェクト

学生が持つ得意分野を活かし、学生主導で社会価値の創造に向けて探求、実践。

食品ロス削減推進プロジェクトC.S.S



KINDAI BIG BLUE

など多数！



アカデミックシアター プロジェクトとは

ACADEMIC THEATER

教職員プロジェクト

教員等の研究（知見）を活かし、学生と共に新しい課題を探索。

マーケティング・デザインX Lab.



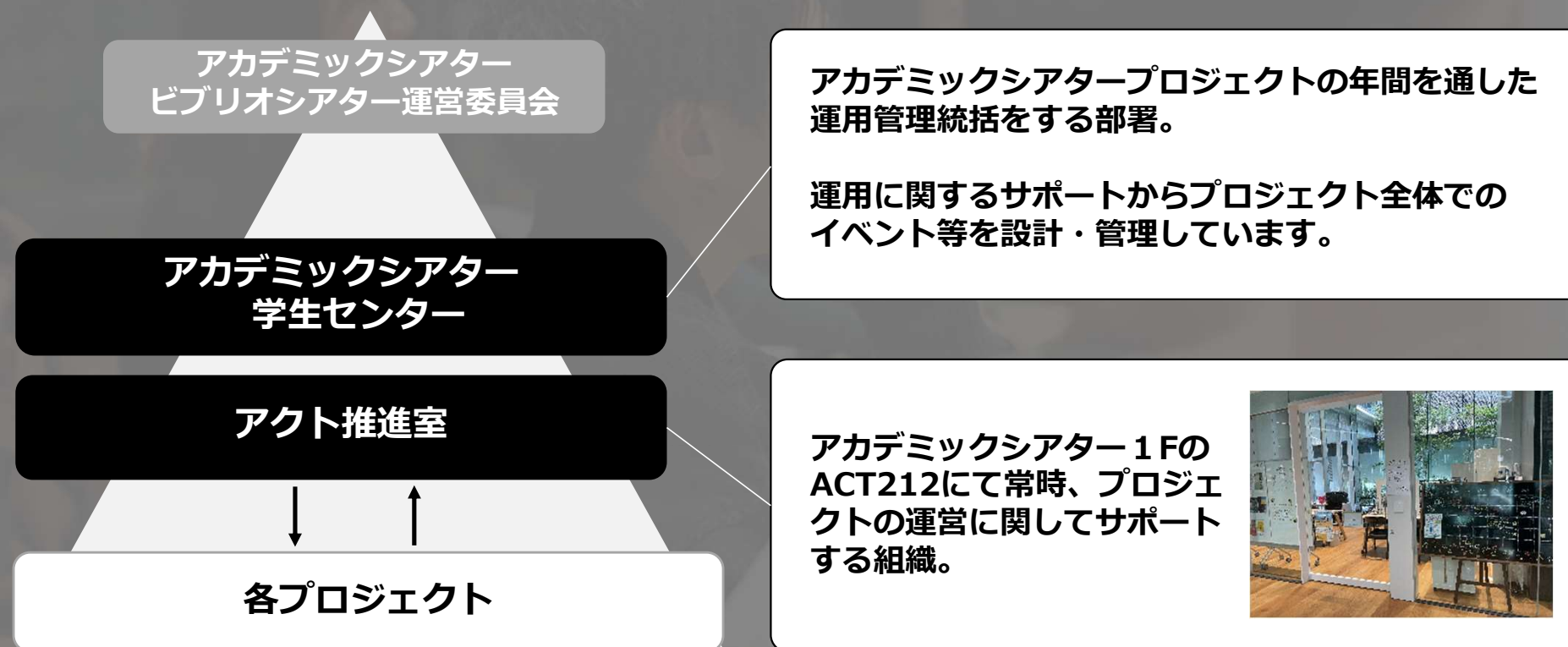
Biocoke de Camp



など多数！

プロジェクト運営をサポートする2つの組織

プロジェクト運営に関して、アカデミックシアターでは2つの組織でサポートしています。



アカデミックシアター プロジェクトとは

ACADEMIC THEATER

プロジェクトに参加すると

- 所属学部以外の仲間ができる！
- 授業以外の楽しみが増える！
- 気に入ったプロジェクトがあればメンバーになれる！
- 自分がキャプテンになってプロジェクトを作れる！
- さまざまなサポートが受けられる！

プロジェクトへの主なサポート内容（施設利用・広報支援）

ACADEMIC THEATER

採用されたプロジェクトは、アカデミックシアター公認の団体として、アカデミックシアター内の施設を使用することができ、さらに様々なサポートを受けることが可能です。

サポート① 施設（ACT/イベントスペース）利用

アカデミックシアター内にあるガラス張りの部屋ACT（アクト）をプロジェクト活動の基点として1年間使用することが出来ます。



■ ACT

アカデミックシアター内のイベントホール「実学ホール」や「ラーニングコモンズ」の使用も可能です。



■ ラーニングコモンズ

サポート② モノづくり施設「THE GARAGE」利用

2021年4月に「ACADEMIC THEATRE Annex THE GARAGE」としてオープンしたモノづくり施設「THE GARAGE」を拠点に、様々な工作器具やデジタル機器を用いて、アイデアを形にするためのプロトタイプを制作することが出来ます。



プロジェクトへの主なサポート内容（施設利用・広報支援）

ACADEMIC THEATER

サポート③ サポートプログラム

プロジェクト活動に基づく支援を目的に、様々なサポートプログラムを用意しています。
※事前に面談と審査があります。

〈サポート内容〉

- イベント実施サポート・ゲスト講演等の謝礼等のサポート
- プロジェクトに対するメンタリング
- プロジェクト間の情報/関心/スキルのマッチングのサポート
- 外部パートナー紹介のサポート

サポートプログラム申請フロー

サポートプログラムを使用するにあたりアクト推進室への申請が必要になります

- ① サポートプログラム使用の2ヶ月前を目安に、企画書・申請書を記入し、アクト推進室に提出
- ② 申請書内容を確認し、可否を判断し各プロジェクトにご連絡
- ③ 承認が降り次第学内手続き

※内容によってはサポートプログラム対象外となる場合があります。

サポート④ 広報支援（情報発信）

アカデミックシアターで展開するWebサイト「ACTEX」や、アカデミックシアター公式X等を活用し、イベント告知やプロジェクトの情報発信が出来ます。



令和9年度におけるプロジェクト対象公式イベント等の予定

ACADEMIC THEATER

プロジェクト関係者は、下記のアカデミックシアター公式「イベント」や「会議」への参加をお願いします。

全体イベント

■キックオフガイダンス（4月）

プロジェクトの活動内容のPRを行い、新規メンバーの獲得やプロジェクト同士の顔合わせを実施。

■中間報告会（10月）

プロジェクトの取り組みや今後の活動予定を発表し、プロジェクト間の交流の機会を図る。

■成果報告会（3月）

活動の締めくくりとして、プロジェクトの成果を発表する。

会議・講座

■全プロジェクト対象

「キャプテン会議」

キャプテンを対象に毎月1回実施。プロジェクトの活動報告と交流を図る。

「プロジェクトマネジメント（PM）講座」

キャプテンを対象にプロジェクト運営に関するノウハウ、目標達成に向けたマネジメントを学ぶ講座。

■学生プロジェクト対象

「1 on 1 ミーティング」

メンターとキャプテンが1対1で行う定期ミーティング。プロジェクトに関する様々な相談を行うことが可能。

■希望者対象

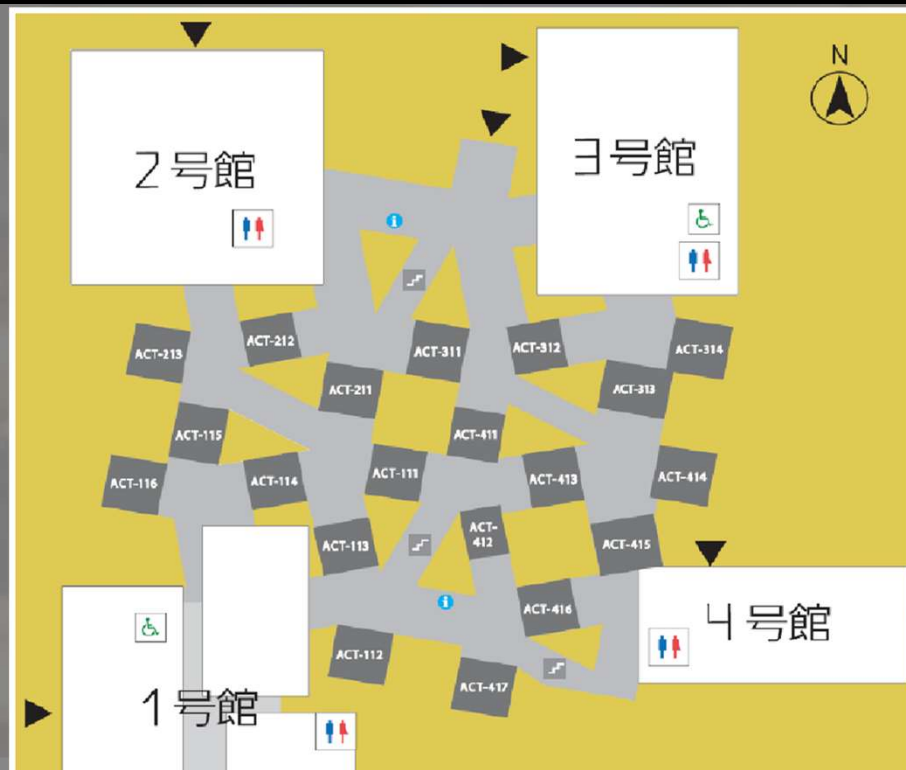
「クロスメンターシップ講座」

プロジェクトの推進や自身の将来のビジョンに役立つスキルアップ講座。

ACT (アクト) 施設情報

ACADEMIC THEATER

1F



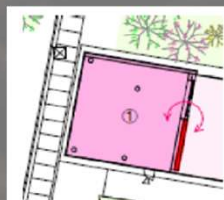
2F



プロジェクトスペース

【大ACT (アクト)】

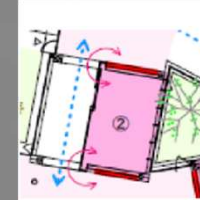
約50㎡ 25名程度収容
* ACT (アクト) によって
多少の大小あり



5号館1F/2F

【小ACT (アクト)】

約20㎡ 15名程度収容
* ACT (アクト) によって
多少の大小あり



5号館1F/2F

プロジェクトへの応募条件

ACADEMIC THEATER

アカデミックシアター公認の団体として認定されるには下記の要件を満たす必要があります。

募集プロジェクト

■ 学生プロジェクト

■ 教職員プロジェクト

応募条件

1. 「得意分野」や「専門領域」を活用したプロジェクトであること。
2. プロジェクトには代表となるリーダー（＝キャプテン）のもとプロジェクトを運用すること。
※教職員プロジェクトも学生キャプテンの設定は必須
3. 学生キャプテンは毎月末に開催するキャプテン会議に必ず参加すること。
4. アカデミックシアター主催の全体イベントである、【キックオフガイダンス】
【中間報告会】【成果報告会】には必ず参加すること。

近畿大学アカデミックシアター：令和9年度アカデミックシアタープロジェクト募集要項

施設コンセプト

文理の垣根を越えて
社会の諸問題を近畿大学として
解決に導く学術拠点

施設名称



近畿大学アカデミックシアター (近畿大学・知の劇場)



- 1号館 → インターナショナルフィールド
- 2号館 → オープン・キャリアフィールド
- 3号館 → ナレッジフィールド
- 4号館 → アメニティフィールド
- 5号館 → **ビブリオシアター**
ガラス張りの空間
<ACT (アクト)>
- 6号館 → THE GARAGE



アカデミックシアタープロジェクト採用基準

施設コンセプトに基づき、以下のプロジェクト採用基準を設定

- 1 × 他領域の掛け合わせになっているか？
そこに化学反応がおこる下地はあるか？

アカデミックシアタープロジェクトでは、ゼミ活動の延長上ではなく、
文系の学生×**理系**の学生であったり、学生×企業、学生×地域の掛け合わせなど、
学部横断、領域横断を伴った新しい活動であること。

- 2 **社会的課題に向き合った、「実学教育」を伴っているか？**

“実学”の精神を踏まえ、社会の様々な問題に向き合ったテーマであり、さらに、
学内での研究活動のみにとどまるのではなく、社会実装を目指した活動であること。

上記をすべて満たした上で、以下の2つの形態のプロジェクトを募集

ACT (アクト) の形態及び応募条件

①常設アクト

1年間ACT (アクト) 内に常設の活動スペースを設けて上記の
採用基準に基づき推進するプロジェクト。

【応募条件】

- ・成果発表プロジェクトを含むイベントをACT (アクト) 内や実学ホール、ラーニングコモンズで**必ず年2回以上実施すること。**

※イベントは、プロジェクトメンバー以外の学生も参加できるようにすること。

- ・最終報告会で、プロジェクト内容を公表すること。
- ・イベントなどを実施した場合は、必ず活動報告を行うこと。
- ・最終報告会等、アカデミックシアター内のイベントに積極的に参加すること。
- ・コラボレーション空間として活用することを前提に、常時開錠可能(誰でも、いつでも入室できる)であること。

②タイムシェアアクト

1つのACT (アクト) を複数のプロジェクトで共同利用。
週1回以上、3か月を超えるものを原則プロジェクトの対象とする。
(上記以外はアカデミックシアター学生センターへのイベント利用申請で随時対応)

【応募条件】

- ・成果発表プロジェクトの成果をプロジェクト終了後実学ホール、ラーニングコモンズ等で公表すること。
- ※イベントは、プロジェクトメンバー以外の学生も参加できるようにすること。
- ・イベントなどを実施した場合は、必ず活動報告を実施すること。
- ・最終報告会等、アカデミックシアター内のイベントに積極的に参加すること。

“モノづくり”施設 (6号館 THE GARAGE)を活用することで、これまで以上に活動のフィールドが拡がり、
より新しく、そして面白い取り組みにチャレンジすることが可能となります。

応募に関して

ACADEMIC THEATER

申請にあたっては、下記の項目について、プロジェクトの代表もしくは学生キャプテンは下記の項目に対して記入・申請をお願いいたします。

※継続プロジェクトは追加で質問事項がございます。記入をお願いいたします。

- ①あなたの「得意分野」や「専門領域」は何ですか？
- ②その「得意分野」や「専門領域」を活用してどのようなテーマで、何を行いますか？
または、学生へどのようなミッションを与えますか？
- ③現時点で、一緒に活動するメンバーを教えてください。
- ④どのような活動を行うのか、1年間の具体的な活動計画を教えてください。
- ⑤プロジェクトを通じて、アカデミックシアターや学生、地域・社会に対してどのような貢献ができるかを教えてください。
- ⑥最後に、プロジェクトにかかる意気込みを教えてください。

申請方法および今後のスケジュール

ACADEMIC THEATER

申請方法

1) 応募

令和8年10月26日（月）～令和8年11月27日（金）

までに「**令和9年度 プロジェクト申請書**」に

必要事項を記入し、アクト推進室（act@ml.kindai.ac.jp）

までメールで提出してください。

* 申請書はACT EX・KDU Mobileからダウンロードをしてください。

* 提出した申請書を元に書類審査を実施します。

2) 面談

申請書提出と同時に面談希望日時をGoogleフォームに記入。

（第3希望まで記入可能）

各自の希望日時を調整の上面談を実施いたします。

令和8年12月7日（月）～18日（金）

*** 土日祝を除く平日に実施します。**

* 書類審査を通過した方のみ面談を実施します。

スケジュール

- ・ **令和8年10月26日（月）** : 募集開始
- ・ **令和8年11月27日（金）** : 申請書締切
- ・ **令和8年12月7日（月）～18日（金）** : 面談審査
- ・ **令和9年 3月上旬** : 正式通知
- ・ **令和9年 3月下旬** : 各プロジェクト入れ替え
- ・ **令和9年 4月～** : 運用スタート（～3月末）

■ 応募申請等に関する問い合わせ先 -

- アクト推進室（ACT212）
- TEL : 06-6730-5880（内線6522）
- MAIL : act@ml.kindai.ac.jp

※月～金 9:00～18:00/土 9:00～17:30